



秋田大学教育文化学部附属小学校 校報

# はとの子だより

No.5 令和8年6月3日(水)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

## 「けやきルーム」を新たな学びの場に

5月29日、秋田大学の南谷佳弘学長を始め、8名のご来賓をお招きし、本校の創立150周年記念事業の一環として整備を進めてきた「けやきルーム」の落成式典を開催しました。

本校の林正彦校長の式辞に続き、南谷学長からは、ご祝辞をいただきました。

本校は、平成9年に現在の校舎に移転して以来、校舎南側に隣接する学校田や栽培園で、米・野菜を栽培し、訪れる昆虫や鳥を観察することで、児童が自然とのふれあいを通じて生命や環境の大切さを実感できる教育を進めてきました。そこで、この「庭」を「森」にアップデートし、環境教育及び情操教育の観点から、学校ビオトープ「はとの子の森」を整備することを目的として事業を推進しました。この事業の中心となったのが、自然観察室「けやきルーム」の新設です。



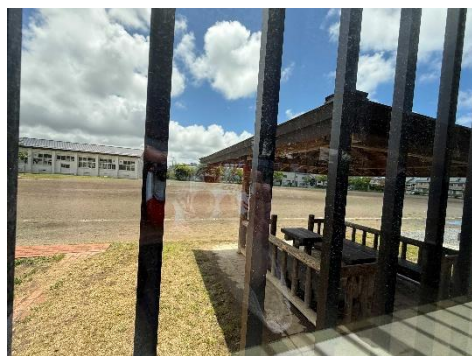
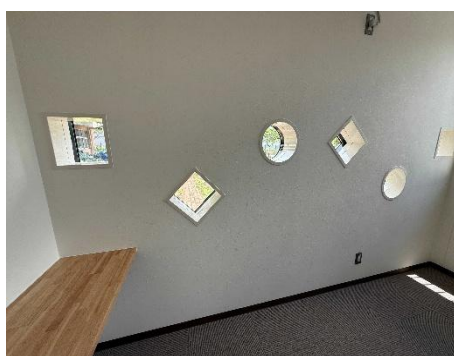
式典では、児童を代表して6年A組の近藤礼人さんが、挨拶をしました。

ぼくたちは、けやきルームが完成するのをとても楽しみにしていました。けやきルームの建設を支えてくださった、秋田大学の皆様、同窓会の先輩方、先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

けやきルームは、自然の観察のために作られました。今後は、けやきルームを使って、自然について学べたらいいなと考えています。ぼくたちはとの子にとって、自然とふれあう機会が増えることが楽しみです。

けやきルームをこれから大切にしていきたいと思えます。

これから「けやきルーム」という舞台で、子どもたちに、どんな学びのドラマが生まれるのでしょうか。とても楽しみです。



## さわやかな朝のスタート ~生活委員会の取組から~

生活委員会では、毎朝、はとの子ホール前であいさつ運動に取り組んでいます。

あいさつは、漢字で「挨拶」と書きます。辞書で調べてみると、「挨」には心を開く、「拶」には相手に近付く、という説明がありました。あいさつは、「私は心を開いてあなたと仲良くしたい」「あなたの存在を大切に思っています」という気持ちを相手に届けるメッセージです。

生活委員会のみなさんが毎朝届けてくれるあいさつは、登校してきた子どもたちや先生方の心を明るくし、学校全体に「今日も一日頑張ろう」というエネルギーを吹き込んでくれています。そんな子どもたちの姿は、本校の大きな誇りです。

子どもたちの元気なあいさつの輪が更に広がっていくよう、ご家庭でも、温かい声掛けと見守りをお願いします。

